



ごあいさつ

東京都知事 小池 百合子

第24回東京都障害者スポーツ大会が、公益社団法人東京都障害者スポーツ協会と東京都の共催により開催できますことを大変嬉しく思います。

この大会は「身体」「知的」「精神」の3つの部門で競技を行う、都内最大規模のパラスポーツの祭典です。障害のある人がスポーツを通じて体力の維持増進、社会への参加及び相互交流を図り、自立促進とスポーツ振興に寄与することを目的としています。

選手の皆様が、大会出場を契機に活躍の場を広げ、また、他の選手と大いに交流し、競技生活をより豊かなものにしていくことを願っています。日頃の練習の成果を発揮して、10月に鹿児島県で開催される特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」への出場を目指しましょう。

2025年には、デフアスリートの総合的な国際大会であるデフリンピックが、日本で初めて、東京で開催されます。東京都は、大会でアスリートが活躍できるよう競技活動を後押しし、デフスポーツを含めた幅広いパラスポーツの一層の振興に向けて取り組みます。また、デジタル技術も駆使してスムーズなコミュニケーションを図ることで、誰もがスポーツを楽しめる環境を整え、共生社会の実現に弾みをつけていきます。

本年3月には、パラスポーツの競技団体等が計画的・安定的に利用できる施設として、東京都パラスポーツトレーニングセンターを味の素スタジアム内に開業しました。このセンターでは、障害のある方もない方もパラスポーツに親しめる機会も提供します。多くの皆様に末永く愛され、利用される施設にしていきたいと思います。

結びに、本大会の開催に御尽力いただいた関係者の皆様に、心から感謝申し上げます。大会の成功が、パラスポーツの一層の発展につながり、私たちに多くの感動をもたらしてくれることを期待し、御挨拶といたします。



ご挨拶

公益社団法人 東京都障害者スポーツ協会
会長 延興 桂

第24回東京都障害者スポーツ大会が、関係者の皆様のご協力とご理解のもとで開催されますことに、主催者の一人として心から感謝申し上げます。

本大会は、10月に開催されます特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」への派遣選手選考会を兼ねております。鹿児島大会は、3年前に開催を予定していましたが、新型コロナウイルスの影響により延期を余儀なくされました。鹿児島県では初めての開催になるこの大会出場を目指し、日頃の練習の成果を出し頑張っていたきたいと思います。

さて、去年は、東京都障害者スポーツ大会も感染予防対策を講じて、3年ぶりの開催になりました。久しぶりに相手選手との真剣勝負を楽しみ、仲間と出会えた喜びの笑顔が会場内に飛び交う大会でした。

今大会は、必要な感染予防対策を講じつつ、観客を入れて開催いたします。選手の皆様におかれましては、持てる力を存分に発揮し、昨年以上に勝負を楽しんで競技されることを期待しております。

また、2025年には、デフリンピック東京大会の開催が決定し、障害者スポーツに対する関心が更に高まりをみせております。

スポーツは、健康の維持・増進や人生に潤いを与える世界共通の人類の文化です。当協会は、東京都内の障害者スポーツ振興の中核組織として、障害のある人が「いつでも どこでも いつまでも ～すすめます！スポーツをもっと身近に～」をスローガンに、障害の有無や種別を問わず誰もがスポーツを楽しむことのできる、スポーツを通じた共生社会の実現に向け、東京都と一体となって引き続き様々な取組を今後も行ってまいります。変わらぬご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。

終わりに、本大会のために多大なご支援をくださいました大勢の方々に、心より感謝申し上げますとともに、重ねて選手の皆様のご健闘を祈念しまして、挨拶といたします。



ごあいさつ

特別区長会会長職務代理者
港区長 武井 雅 昭

第24回東京都障害者スポーツ大会の開催を心からお慶び申し上げます。

この大会は、多くの選手が参加する、国内最大規模を誇る「障がい者スポーツの祭典」であります。今回で第24回目を迎える本大会は、さまざまな障がいを乗り越えて活躍されている選手だけでなく、ボランティアの皆さんも含めた多くの関係者が集い、年々大きな輪となっております。

本大会の開会式が東京を代表するスポーツ大会として伝統のある「都民体育大会」と合同で開催されることは、障がいのある人とない人がお互いのスポーツ競技への理解をより一層深めることにつながり、すべての人がスポーツのもとで、ひとつの大輪となり発展していく象徴だと思っております。

さて、一昨年の東京オリンピック・パラリンピック、昨年の北京オリンピック・パラリンピック冬季大会において、参加した選手の皆さんがスポーツに真摯に向き合う姿は、私たちに多くの感動と勇気をもたらしてくれました。また、両大会を契機に共生社会への関心もこれまで以上に高まっています。

特別区長会は引き続き、パラリンピアン育成や障がい者スポーツの環境づくり、一般の障がい者スポーツのさらなる普及促進のために取り組むとともに、障がいについての理解を推進するために、こころのバリアフリーについても全力をあげて取り組んでまいります。

特別区は今後とも、障がいのある方々が、住みなれた地域で安心して末永く質の高い生活を送っていただけるように、障がい者スポーツの振興を含めた障がい者施策の充実を努め、誰もが幸せを実感できる共生の地域社会の実現を目指してまいります。

どうか皆様もスポーツを通して友情と交流を育まれ、連帯と支え合いの輪を地域に広げていただくことをご期待申し上げます。

新型コロナウイルスの影響が残る中、鍛錬を積んできた選手、大会運営にあたっているスタッフの皆さん、そして諸団体、ボランティアの皆さんのご努力とご協力に深く敬意を表すとともに、大会の成功と皆さんのご活躍を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。



第24回東京都障害者スポーツ大会開催を祝して

東京都市長会会長

町田市長 石 阪 丈 一

「第24回東京都障害者スポーツ大会」が多くの皆様のご参加により、盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。

本大会は、選手の皆様が、日頃積み重ねてきた練習の成果を発揮するとともに、競技を通じて多くの人々と交流の輪を広げる大きな機会であります。

例年、ハンディキャップをお持ちの多くの選手やボランティアの方々が参加し、国内最大規模の大会として開催できますのも、ひとえに関係者の皆様の熱い想いと、それに応える選手の皆様との交流の輪が大きな礎となっていることにほかなりません。

大会では、選手の方々が真剣勝負を繰り広げ、その活躍する姿は、多くの人々に感動と勇気を与え、人々の心を揺さぶり、障害者スポーツの魅力をあますことなく伝えてくれるものと思います。そして障害者スポーツへの理解が更に深まるものと確信しております。

昨年は、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会開催1周年を記念した様々なイベントが開催されるなど、大会で生まれたレガシーは今もつながられています。

東京都市長会といたしましても、活力あふれる共生社会の実現に向けて、障害者福祉のより一層の増進に努めるとともに、障害がある人もない人も共に暮らしやすいまちづくりに向けて、全力で取り組んで参ります。

結びに、本大会を運営されるスタッフ、ボランティアの皆様のご尽力に対し、深く敬意を表しますとともに、選手の皆様のご活躍と本大会の成功を心からお祈りしてご挨拶の言葉といたします。



ご 挨拶

東京都町村会会長

瑞穂町長 杉 浦 裕 之

第24回東京都障害者スポーツ大会が盛大に開催されることを心からお慶び申し上げます。

四大大会（全豪オープン、全仏オープン、ウィンブルドン選手権、全米オープン）全てとパラリンピックで優勝する「生涯ゴールデンスラム」を達成された、車いすテニスの第一人者である国枝慎吾さんが、パラリンピック選手としては初めて、国民栄誉賞を受賞されました。

世界最高峰の場で、多彩で力強い数々の技で世界に挑んだ姿は、すべての人々に大きな感動をもたらすとともに、勇気や希望を与えてくれました。また、多くの子供達が、目標を持ち挑戦することの素晴らしさを学んだことと思います。

今回の受賞が、今後の障害者スポーツの発展をより一層加速させるとともに、多様性が尊重される社会の実現につながることを大いに期待しております。

東京都町村会といたしましても、障害者スポーツのより一層の振興に努めるとともに、障害のある方々が、住み慣れた地域で安心して生活できる地域社会を確立するなど、誰もが幸せを実感できる共生社会の実現に向け、全力で取り組んでまいります。

第24回東京都障害者スポーツ大会は、特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」の代表選手選考会を兼ねて開催されます。それぞれの選手が自らの障害を克服して、人の持つ可能性を多くの人に伝えるとともに、障害者スポーツの魅力を西多摩地域や島しょ地域を含む都内全域に伝えることができる大会になるものと確信いたしております。

最後に、本大会の開催にご尽力いただいた多くの関係者やボランティアの方々に深く感謝申し上げますとともに、大会の成功と選手の皆様の益々のご健勝、ご活躍を心からお祈りいたしまして挨拶とさせていただきます。



第24回東京都障害者スポーツ大会に寄せて

公益社団法人東京都身体障害者団体連合会
会長 小西 慶一

「第24回東京都障害者スポーツ大会」が多くの方々の参加を得て、開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

3.11東日本大震災から十二年、三年に及ぶコロナ禍との共存等、日々の何気ない日常生活の大切さが痛いほど伝わります。

そして、新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられ、マスク着用等、大きく対策が変化する中でのトレーニング等スポーツとの関わり方ですが、それこそ各々の障害が違って、スポーツを通しての「生きがい」だったり、「友情」だったり、大きなキッカケとなるのが「スポーツ」のすばらしさだと私は思っております。

また、観戦し応援するのも「スポーツ」のひとつのあり方だと思います。

これらのことは障害者がスポーツに親しむ原動力として、自立と社会参加、共生社会の方向性を国内外に示す重要な意味があると思います。

今大会に参加される選手の皆様、日頃の練習の成果を思う存分発揮し、本年開催される全国障害者スポーツ大会「かごしま大会」に東京都代表として出場することを目指して、頑張っていたいただきたいと思います。私達も応援しております。

そして、目標を高く持ち、その先にあるものを目指して、選手として出場することへの希望を繋げてください。

また、東京都障害者総合スポーツセンター並びに東京都多摩障害者スポーツセンターをご活用されて、多くの方々との「ふれあい」を大切に、コミュニケーションを広げてください。

末筆になりますが、本年も新型コロナウイルス感染症への対策をとり、選手並びに関係者の皆様の安全に配慮した大会の準備等に、ご尽力をいただきました大会関係者及びボランティアの皆様、心より敬意を表し、公益社団法人東京都障害者スポーツ協会の益々のご発展と大会の成功をお祈り申し上げます、挨拶といたします。



第24回東京都障害者スポーツ大会に寄せて

社会福祉法人 東京都手をつなぐ育成会
理事長 佐々木 桃子

第24回「東京都障害者スポーツ大会」が、多くの皆様のご協力ご支援の元、開催できることを嬉しく思い、関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

選手の皆さんも、きっとこの大会を楽しみにされていることと思います。

コロナ禍も三年が経過し、感染症2類から5類に変更され、選手の皆さんも、少しずつ活動を再開されていることでしょう。

障害があっても、様々な場に参加をしていくことは、大きな意味があり、このスポーツ大会もその一つであります。

そして、この大会は、日ごろの皆さんの練習の成果を試すところでもあり、全国大会の派遣選手選考会も兼ねています。でも、良い記録を出すことや勝つことだけが素晴らしいことではなく、一生懸命練習したり、競技に取り組む姿勢、そして何より楽しむことが大切です。

皆様が日ごろの練習の成果を発揮され、また熱戦が繰り広げられることを大いに期待しています。

そして、この大会を楽しんでください。

皆さんの力強い姿は、周りの人たちに勇気と元気を与えてくれますし、障害理解にもつながります。

今大会も、コロナ感染症は、続いております。皆さんも、今までどおり感染防止対策は、しながらも、全力で頑張ってください。

選手皆さんのご健闘を祈っています。

結びにあたり、この大会を支えてくださっている多くの皆様に感謝申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。



第24回東京都障害者スポーツ大会

ライオンズクラブ国際協会330-A地区
ガバナー 増田 正 明

第24回東京都障害者スポーツ大会が、多くの参加者のもと盛大に開催されますことをライオンズクラブ国際協会330-A地区を代表いたしまして心よりお祝い申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症への対策を取りながらの大会運営にあたり、改めまして本大会を支えておられる多くの関係者の皆様に深く敬意を表します。4年ぶりの有観客での開催、誠に嬉しい限りです。

東京都障害者スポーツ大会には、これまで第1回大会より20年以上に亘り、ライオンズクラブとして様々な形で支援をさせていただいています。すなわち、各クラブとしての競技への協賛をはじめ、330-A地区全体としては特別協賛をしております。

駒沢オリンピック公園総合運動陸上競技場において毎回競技を観戦しておりますが、選手の皆様が日ごろの練習成果を発揮される姿を目の当たりにして感激しております。

また、ご家族やボランティアの方々と一緒に表彰を盛り上げることは、私たちにとって大変誇らしく、今年もこのような機会を頂き、心から感謝申し上げます。

本大会は、10月に鹿児島県で開催される特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」への派遣選考会も兼ねていると伺っています。怪我をしたり体調を崩したりすることなく、次の目標に向かって邁進されることを期待しております。今後とも、本大会が益々盛んとなり、障害者の方々がスポーツを通じて夢と希望を持ち、さらなる社会進出を果たすべく様々な経験の場になりますよう願っております。

結びにあたり、選手の皆様並びにそのご家族、介護者及びボランティアの皆様に感謝申し上げます。本日参加される選手の皆様のご活躍、そして公益社団法人東京都障害者スポーツ協会並びに関係諸団体のさらなるご発展を祈念し、選手の皆様への激励の言葉といたします。



ごあいさつ

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団
理事長 塩見清仁

第24回東京都障害者スポーツ大会が、多くの関係者の方々の御協力を得て開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

本大会は、本年10月に鹿児島県で開催が予定されている特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」への東京都代表選手選考会を兼ねた都内最大規模の障害者スポーツの祭典で、全国大会出場という大きな目標につながる大会でもあります。また、当事業団が管理運営しております東京体育館、駒沢オリンピック公園総合運動場及び東京アクアティクスセンターでも競技が実施されます。皆様が練習の成果を遺憾なく発揮され、熱戦が繰り広げられることを心から楽しみにしています。

さて、本年3月には、スポーツ庁において「社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」が改訂され、マスク着用については、個人の主体的な判断を尊重することを基本とするなどの方針が打ち出されました。新型コロナウイルスの感染拡大が収束するとともに、日本そして世界中のスポーツが再び活気づき、人々が安心してスポーツを楽しむことができる明るい社会が訪れることを切に願っております。そして、こうしたスポーツ実施気運の高まりと合わせ、本大会の開催を通じて、パラスポーツの競技力向上及び更なる理解・普及促進の契機となることを期待しております。

当事業団は、本大会の成功はもとより、「スポーツフィールド・東京」の実現に向けた様々な取組に積極的に参画して参ります。その取組のひとつとして、都立の特別支援学校を障害者スポーツの拠点として活用する「都立特別支援学校活用促進事業」を、今年度も引き続き実施いたします。都民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができるよう、これまで以上に障害者スポーツの振興に寄与して参りたいと考えております。

結びに、公益社団法人東京都障害者スポーツ協会並びに本大会実行委員会の皆様方の御尽力に敬意を表しますとともに、大会の成功と選手の皆さんの御健闘をお祈り申し上げます。



ごあいさつ

一般財団法人 東京都弘済会
理事長 細井 優

第24回東京都障害者スポーツ大会が盛大に開催されますことを、心よりお慶び申し上げます。

ご承知のとおり、この大会は、障害のある方々がスポーツを通じて、自らの体力の維持増進及び社会参加と相互交流の促進並びに都民の障害者に対する理解の増進を図ることで、障害者の自立促進とスポーツ振興に寄与することを目的として開催されています。

近年、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会及び北京2022パラリンピック冬季競技大会によって、障害のある方々のスポーツやアスリートに、日本中から多くの感動と関心が集まりました。2025年には、東京でのデフリンピックの開催が決定しています。

第24回東京都障害者スポーツ大会が、久々に訪れた平穏で安定的に開催できる状況の下で、選手や関係者の皆さまの日ごろの努力の成果がいかんなく発揮され、輝かしい結果をあげ、感動を与えていただけることを心から願っております。

一般財団法人東京都弘済会では、障害のある方々などに対する福祉事業等を多数実施しております。障害者のための「ふれあいコンサート」に協賛するとともに、病院、障害者施設等に出向き小編成の音楽演奏会を開催するほか、障害者等の心身の健康増進や地域交流を図るため、障害者施設等で出前演芸会を開催しています。また、在宅介護者交流ツアーなども企画しておりますので、ぜひお越しいただきたいと思っております。

最後に、あらためて、本大会の運営にあたるスタッフの方々、関係団体及びボランティアの皆さまのご尽力に敬意を表するとともに、本大会に参加されるアスリートの皆さまのご健闘を心より祈念しまして、あいさつとさせていただきます。



ご挨拶

社会福祉法人 東京都社会福祉協議会
会長 木村 恵 司

第24回東京都障害者スポーツ大会が多くの方のみなさまの参加により開催されますことを心からお慶び申し上げます。

新型コロナウイルスの感染予防策としてのマスクの着用も3月から個人の判断に委ねられるようになりました。しかし、高齢者福祉施設などでは引き続きマスクの着用を推奨するとしているため、施設の現場では感染防止対策を継続していくことが求められています。そのような状況ではありますが、感染防止対策を工夫し安全に配慮された今回の大会が開催できますこと、関係者のご尽力に心から感謝申し上げます。

今年2月に東京都障害者スポーツ協会が主催された「障害者スポーツフォーラム」においては、「障害者スポーツを支える活動のこれから～つなげよう！！新たな活動と共生社会の実現へ～」がテーマとなっております。

このテーマは、本会の中期計画における「東京の多様性を活かした地域共生社会づくり」の推進と目的を同じくするものであり、日常的に障害者スポーツが地域スポーツとしても興隆し、障害者の可能性への理解が広がっていくことは、とても大切なことであると考えております。具体的には、地域に根差した「障害者スポーツ地域サポート事業」などにおいて、区市町村社会福祉協議会などとの連携が益々盛んに進められることが必要です。

地域における共生社会の実現に向けて、障害のある人もない人も一緒にスポーツを楽しむことができる取組みのために、多くの関係者が手を携え、協力していくことが求められており、本会においても、障害のある方々の社会参加と地域におけるスポーツ活動を支援していく所存です。

最後になりましたが、あらためて第24回東京都障害者スポーツ大会のご成功を祈念いたしますとともに、参加される選手はもとより大会の運営に関わる関係者、また、東京都障害者スポーツ協会の方のみなさまの益々のご活躍をお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。